

日本を代表する映画監督・是枝裕和の《これまでとこれから》を見つめる展覧会

[特別展] 映画監督・是枝裕和のまなざし

会期:10月7日(土)ー2024年1月14日(日)

企画展観覧料:一般400円、小・中学生200円※鎌倉市民は無料(要証明書)

Through the Eyes of Director
HIROKAZU
KORE-EDA

特別展 映画監督・是枝裕和のまなざし

2023.10.7(土)~2024.1.14(日)

開催場所: 鎌倉市川喜多映画記念館

鎌倉市川喜多映画記念館



一作ごとに世界から大きな注目を集め、旺盛な活動を展開している是枝裕和監督。鎌倉市川喜多映画記念館では、是枝監督のこれまでの軌跡を振り返ると同時に、映画界の現在と未来に向けた監督のまなざしを追った特別展を開催します。テレビドキュメンタリーにルーツを持ち、現在では劇映画を中心に活躍する是枝監督は、現代社会が抱える問題を独自の視点で見つめながら、映画を通して“家族の在り方”を問いかけ、“社会から孤立した存在”を描いてきました。また、積極的に新しい主題・手法・場所や出会いを求め、作品ごとに変化していく監督の作品は、映画の可能性に溢れています。本展では展示・上映・イベントを通して、世界から愛される作品世界を見つめます。

◆見どころ◆

- ★ 是枝監督の軌跡を辿る、ポスター、写真、直筆資料等150点以上の資料を、監督自身の言葉とともにご覧いただきます。
- ★ 是枝監督の代表作から10作品の上映に加え、監督が影響を受けた映画史上の名作3作品を上映します。(劇場で鑑賞機会の少ない35mmフィルムでの貴重な上映も!)
- ★ 是枝監督のルーツである貴重なテレビドキュメンタリー2作を参考上映の形で無料上映します。(『国葬の日』の大島新監督が、是枝監督のテレビドキュメンタリーを語るトークイベントも実施!)

◆上映◆

<是枝監督作品>

映画鑑賞料金:一般1000円、小・中学生:500円(展示観覧料含む)

『幻の光』(1995年)

『ワンダフルライフ』(1999年)

『誰も知らない』(2004年)

『歩いてても歩いてても』(2008年)

『奇跡』(2011年)

『そして父になる』(2013年)

『海街diary』(2015年)

『万引き家族』(2018年)

『真実(La Vérité)』(2019年)

『怪物』(2023年)



<是枝監督テレビドキュメンタリー集>

料金:無料(要特別展観覧料)

『しかし…~福祉切り捨ての時代に~』(1991年)

『もう一つの教育~伊那小学校春組の記録~』(1991年)



<是枝監督が影響を受けた映画>

映画鑑賞料金:一般1000円、小・中学生:500円(展示観覧料含む)

『稲妻』(1952年、成瀬巳喜男監督)

『エル・スール』(1983年、ビクトル・エリセ監督)

『童年往事 時の流れ』(1985年、侯孝賢^{ホウ・シャオシェン}監督)※詳しい上映スケジュールは当館HP
(<https://kamakura-kawakita.org>) をご覧ください。

※チケットは原則として前月第2土曜日より販売⇒記念館窓口

※チケットが完売した場合はご入場いただけません。

Kamakura City Kawakita Film Museum

鎌倉市川喜多映画記念館

*ギャラリートーク:10月22日(日)、11月23日(木・祝)、12月9日(土)
各日13時~(約40分) ギャラリートーク後に、旧和辻邸見学ツアー
(希望者のみ)を行います。(10分程度)*上映解説:10月27日(金)、11月30日(木)、12月24日(日)、
2024年1月10日(水) 各日午後の上映終了後(約40分)

◆トークイベント◆

10月28日(土) 14時 -

「是枝裕和とテレビドキュメンタリー」

ゲスト:大島 新さん(ドキュメンタリー監督/プロデューサー)

テレビマンユニオン時代、是枝監督はフジテレビのドキュメンタリー番組「NONFIX」を中心にいくつもの名作を生み出しました。今回は、ご自身もテレビ局のディレクターからキャリアを開始し、映像制作会社「ネツゲン」を設立してドキュメンタリー映画の監督やプロデュースを精力的に行う大島新さんに、是枝監督のテレビドキュメンタリーについてお話しいただきます。

料金:一般 1000円 / チケット発売中

日時未定

「これまでとこれから」

ゲスト:是枝 裕和監督

最新作『怪物』が公開され、脚本家・坂元裕二さんとのタッグで新たな一歩を踏み出した是枝監督。フィルモグラフィを辿りつつ、会場の皆さまとの対話を通じて、監督の「これまでとこれから」についてお話しいただきます。

日時・チケット発売方法等、詳細が決まり次第、発表します。

◆映画『海街diary』散策ツアー◆

「鎌倉映画」の代表として親しまれている映画『海街 diary』に関連して、映画に登場する場所を巡る散策ツアーを開催します。

11月2日(木)

①海猫食堂コース

鎌倉ならではの海沿いの景色を中心に、四姉妹の暮らしの中での「海街」を歩きます。

申込開始日:申込受付中

11月19日(日)

②極楽寺コース

四姉妹の家がある極楽寺を中心に、彼女たちの生活の風景を歩きます。

申込開始日:10月21日(土)

12月17日(日)

③衣張山コース

映画オリジナルの重要な場面の舞台となる衣張山を中心に、鎌倉ならではの名所を歩きます。

申込開始日:11月18日(土)

ツアー時間:いずれも 10:00 ~ 12:30 参加費:500円(会期中有効の展示招待券付き)

定員:各回20名(先着順) 申込方法:各回申込日の9:00より電話(0467-23-2500)にて

◆次世代シネマセレクション(12月21日(木)~24日(日))◆

是枝監督らが設立した制作者集団「分福」に所属し、監督助手として経験を積んだのち、気鋭の若手監督として活躍する広瀬奈々子監督、川和田恵真監督の作品を上映します。両監督によるアフタートークも実施します。



『つづんで、ひらいて』

(広瀬奈々子監督/2019年)

鎌倉在住の稀代の装幀者・菊池信義(1943-2022)にカメラを向け、《装幀》の仕事を通して言葉が読み手に届いていく過程を浮かび上がらせるドキュメンタリー。



『Mysmderland』

(川和田恵真監督/2022年)

日本で育ったクルド人の高校生を主人公に、近年注目を集める「難民問題」によって、人間が人間らしく生きられない厳しい現実をあぶり出していく意欲作。



お問い合わせ:鎌倉市川喜多映画記念館(担当:松本、阿部)

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

TEL:0467-23-2500 / FAX:0467-23-2503

MAIL:contact@kamakura-kawakita.org

HP:https://kamakura-kawakita.org